

高齢期に向けた「備え」に関する意識調査

〔概要版〕

## 1. 調査の目的

平均寿命が延びて人生が長期化した現在、将来を見据えて、健康や能力開発、社会参加、資産等について「人生90年時代」への備えが必要となっている。しかしながら、様々な制度等は「人生65年時代」を前提として設計されていることから、高齢期に向けた準備が不足していると考えられる。本調査研究では、今後高齢期を迎える世代の「高齢期への備え」に関する意識と現状について把握、分析するとともに、備えの阻害となる要因等について分析し、「人生90年時代」を見据えて若年期からの備えを促進する方策の検討に資することを目的とする。

## 2. 調査の概要

### (1) 調査内容

全国の35歳から64歳(平成25年10月1日現在)の男女6,000人を対象に、(2)に掲げる事項に関する意識と現状を把握した上で、それぞれの事項に係る阻害要因を分析し、高齢期に向けての若年期からの備えを促進する方策について検討する。

### (2) 調査事項

- |                  |                |               |
|------------------|----------------|---------------|
| (ア) 高齢期の生活に関する事項 | (エ) 社会参加に関する事項 | (キ) 国や地方自治体への |
| (イ) 資産に関する事項     | (オ) 健康に関する事項   | 要望に関する事項      |
| (ウ) 就労に関する事項     | (カ) 住宅に関する事項   |               |

### (3) 調査対象

全国の35歳から64歳(平成25年10月1日現在)の男女6,000人

### (4) 調査期間

平成25年11月28日(木)～12月31日(火) (投函締め切り 12月16日(月))

※12月10日(火)及び18日(水)に、未投函者へ対して回答依頼のハガキを送付している

### (5) 標本抽出方法

層化二段無作為抽出法

### (6) 調査方法

郵送配布・郵送回収法

### (7) 回収結果

有効回収数(率) 2707人(45.1%)

(無効票内訳: 返戻数68人、不完全回答5人、抽出閲覧時情報と回答者の相違33人)

### (8) 調査委託機関

株式会社 日本リサーチセンター

### (9) 企画分析委員

本調査は、内閣府政策統括官(共生社会政策担当)の委託により、株式会社日本リサーチセンターが学識経験者の協力を得て実施した。企画分析委員は以下のとおりとなっている。

香山 リカ (精神科医、立教大学現代心理学部映像身体学科教授)

佐藤 厚 (法政大学キャリアデザイン学部教授)

佐藤 博樹 (東京大学大学院情報学環教授)

藤森 克彦 (みずほ情報総研株式会社社会保障・藤森クラスター主席研究員)

(五十音順、敬称略)

## 3.調査対象者の基本属性

### (1) 性別(F1)

	N	%
全 体	2707	100.0
男性	1210	44.7
女性	1497	55.3
無回答	-	-

### (2) 年齢(F2)

	N	%
全 体	2707	100.0
35～39歳	389	14.4
40～44歳	418	15.4
45～49歳	404	14.9
50～54歳	430	15.9
55～59歳	427	15.8
60～64歳	639	23.6
無回答	-	-

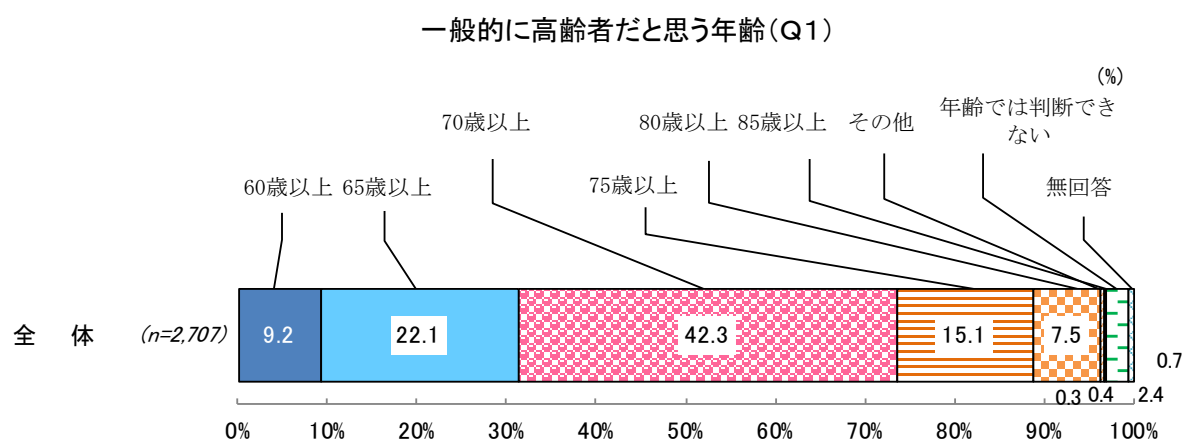
#### 4.調査結果の概要

##### (高齢期の生活に関する意識)

##### (1)一般的に高齢者だと思う年齢(Q1)

Q1 あなたは、一般的に高齢者とは、何歳以上だと思いますか。(○は1つ)			
1	60歳以上	5	80歳以上
2	65歳以上	6	85歳以上
3	70歳以上	7	その他( )歳以上
4	75歳以上	8	年齢では判断できない

一般的に高齢者だと思う年齢を聞いたところ、「70歳以上」が42.3%で最も高く、次いで「65歳以上」(22.1%)、「75歳以上」(15.1%)、「60歳以上」(9.2%)、「80歳以上」(7.5%)などの順となっている。一方、「年齢では判断できない」は2.4%となっている。



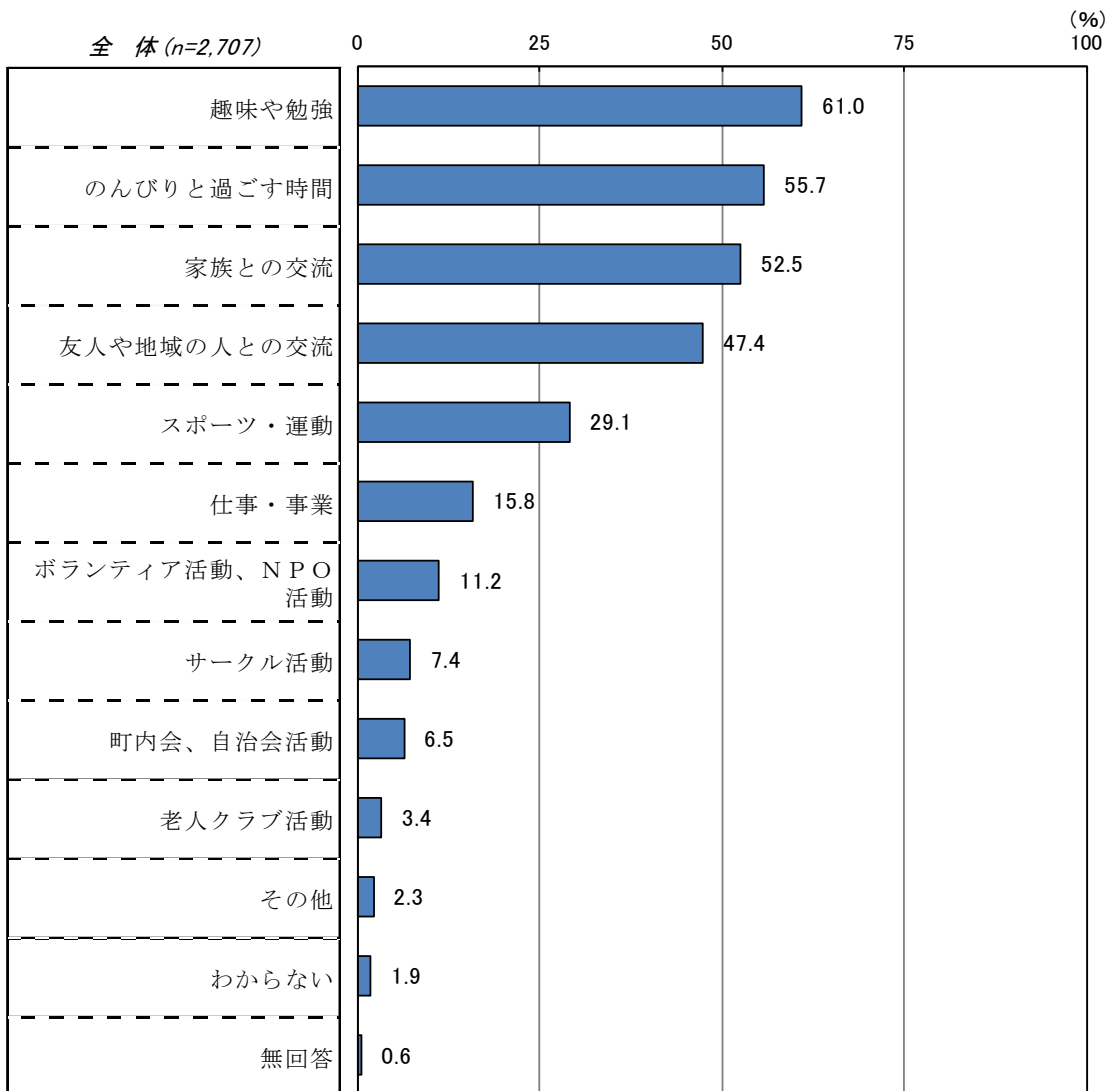
(2) 高齢期の生活で大切にしたいこと(Q4)

Q4 あなたは、高齢期においてどのようなことを大切に生活したいと思いますか。  
 (〇はいくつでも)

1 仕事・事業	7 スポーツ・運動
2 ボランティア活動、NPO活動	8 友人や地域の人との交流
3 サークル活動	9 家族との交流
4 老人クラブ活動	10 のんびりと過ごす時間
5 町内会、自治会活動	11 その他 ( )
6 趣味や勉強	12 わからない

高齢期の生活で大切にしたいことについて聞いたところ、「趣味や勉強」が61.0%で最も高く、次いで「のんびりと過ごす時間」(55.7%)、「家族との交流」(52.5%)、「友人や地域の人との交流」(47.4%)などの順となっている。

高齢期の生活で大切にしたいこと(Q4)(複数回答)



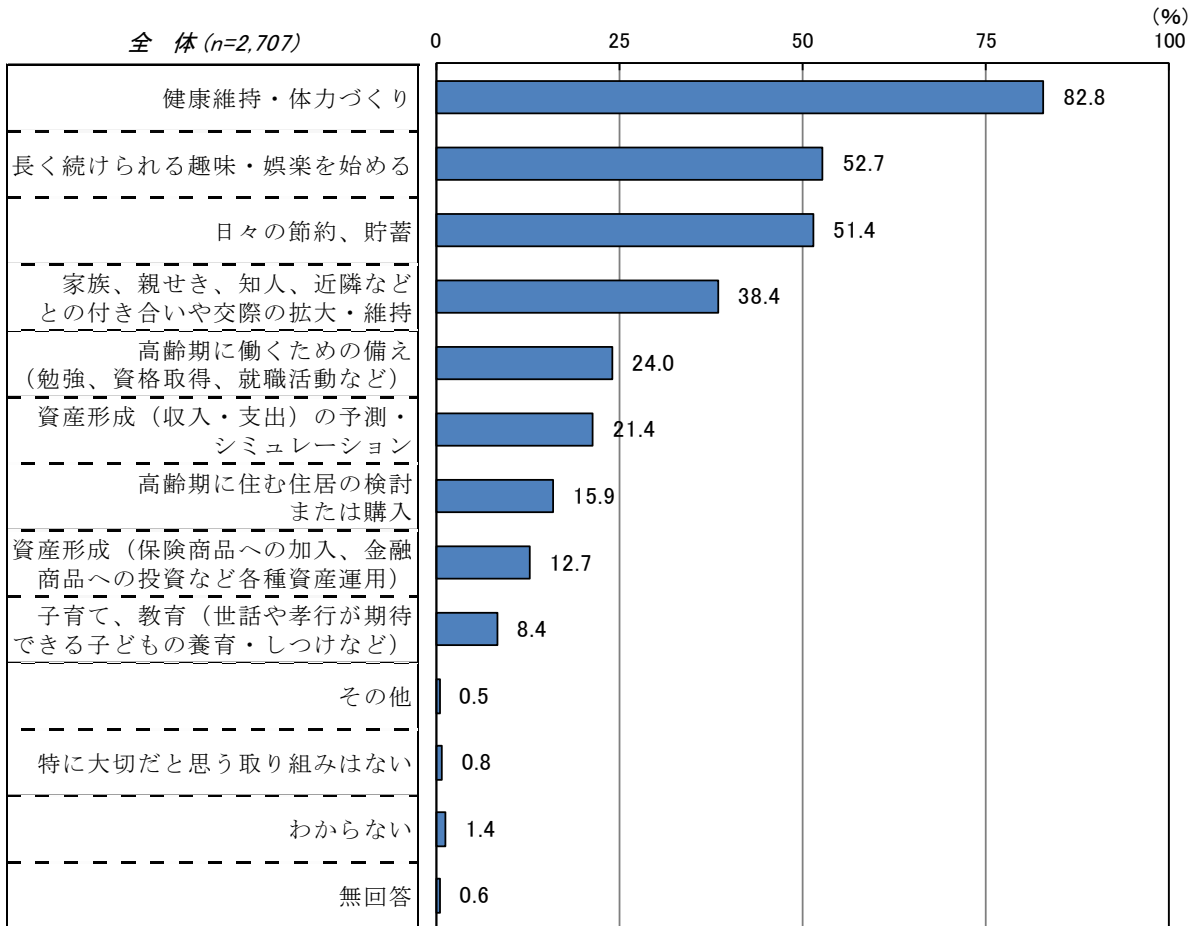
(3) 高齢期に備えて大切だと思う取り組み(Q5)

Q5 あなたは、高齢期に備えてどのようなことに取り組むことが大切だと思いますか。この中から、大切だと思うことをいくつかもお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 高齢期に働くための備え(勉強、資格取得、就職活動など)
- 2 家族、親せき、知人、近隣などとの付き合いや交際の拡大・維持
- 3 子育て、教育(世話や孝行が期待できる子どもの養育・しつけなど)
- 4 健康維持・体力づくり
- 5 長く続けられる趣味・娯楽を始める
- 6 日々の節約、貯蓄
- 7 資産形成(保険商品への加入、金融商品への投資など各種資産運用)
- 8 資産形成(収入・支出)の予測・シミュレーション
- 9 高齢期に住む住居の検討または購入
- 10 その他( )
- 11 特に大切だと思う取り組みはない
- 12 わからない

高齢期に備えて大切だと思う取り組みについて聞いたところ、「健康維持・体力づくり」が82.8%で最も高く、次いで「長く続けられる趣味・娯楽を始める」(52.7%)、「日々の節約、貯蓄」(51.4%)、「家族、親せき、知人、近隣などとの付き合いや交際の拡大・維持」(38.4%)、「高齢期に働くための備え(勉強、資格取得、就職活動など)」(24.0%)、「資産形成(収入・支出)の予測・シミュレーション」(21.4%)などの順となっている。なお、「特に大切だと思う取り組みはない」は0.8%となっている。

高齢期に備えて大切だと思う取り組み(Q5)(複数回答)



(資産に関する意識)

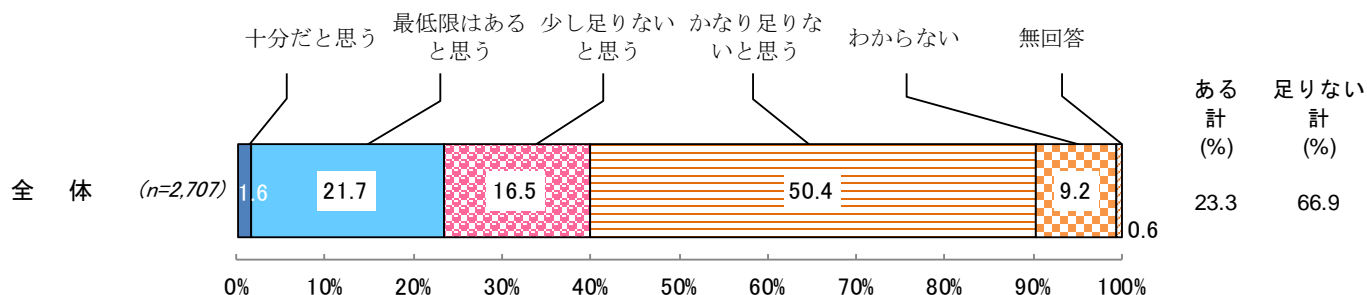
(4)世帯の高齢期への経済的な備えの程度(Q6)

Q6 あなたは現在、あなたの世帯の高齢期への経済的な備えについて、どのように感じていますか。  
(○は1つ)

1 十分だと思う	4 かなり足りないと思う
2 最低限はあると思う	5 わからない
3 少し足りないと思う	

世帯の高齢期への経済的な備えの程度について聞いたところ、「十分だと思う」(1.6%)と「最低限はあると思う」(21.7%)を合わせた『備えはある(計)』が23.3%、「少し足りないと思う」(16.5%)と「かなり足りないと思う」(50.4%)を合わせた『足りない(計)』が66.9%となっており、「かなり足りないと思う」が半数を占める。一方、「わからない」は9.2%となっている。

世帯の高齢期への経済的な備えの程度(Q6)



(5)世帯の高齢期に必要なと思う月々の生活費(Q7)

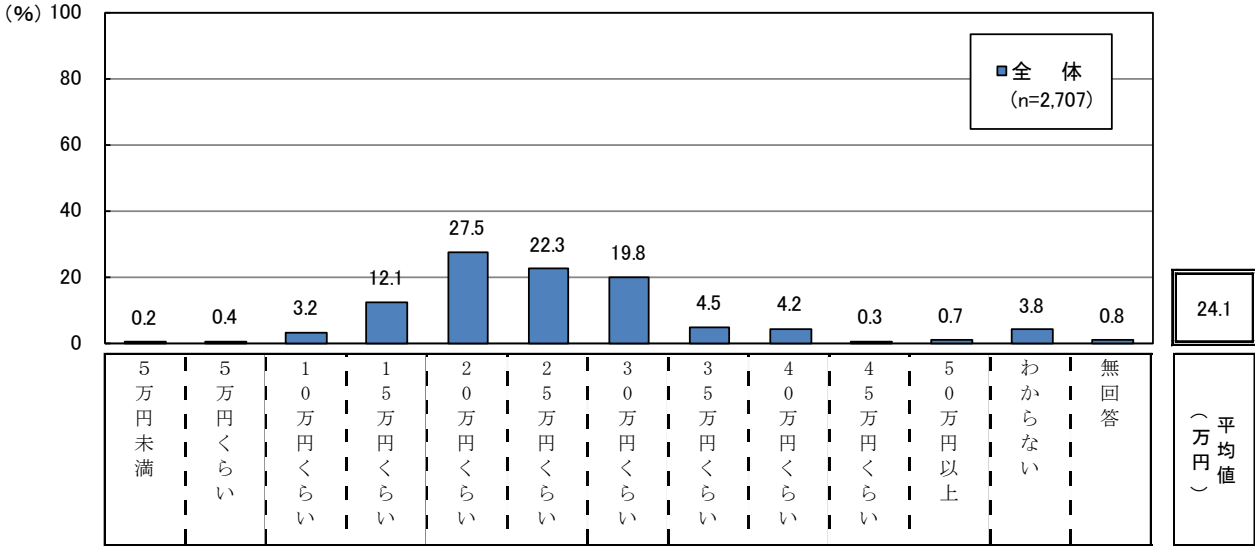
**Q7** あなたは、あなたの世帯の高齢期の生活費\*1は、毎月どのくらい必要になると思いますか。  
(〇は1つ)

\*1 生活費には次のものを含みます：食費、光熱費、ローンの返済、住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費など

1	5万円未満	5	20万円くらい	9	40万円くらい
2	5万円くらい	6	25万円くらい	10	45万円くらい
3	10万円くらい	7	30万円くらい	11	50万円以上
4	15万円くらい	8	35万円くらい	12	わからない

世帯の高齢期に必要なと思う月々の生活費について聞いたところ、「20万円くらい」が27.5%で最も高く、次いで「25万円くらい」(22.3%)、「30万円くらい」(19.8%)、「15万円くらい」(12.1%)などの順で、平均では24.1万円となっている。

世帯の高齢期に必要なと思う月々の生活費(Q7)





(6)世帯の高齢期に受け取れると思う年金の額(Q8)

Q8 あなたが高齢期になったら、あなたの世帯では国から年金（国民年金・厚生年金など）を毎月どのくらい受け取れると思いますか。（○は1つ）

1	受け取れないと思う	6	15万円くらい	11	40万円くらい
2	3万円未満	7	20万円くらい	12	45万円くらい
3	3万円くらい	8	25万円くらい	13	50万円以上
4	5万円くらい	9	30万円くらい	14	わからない
5	10万円くらい	10	35万円くらい		

世帯の高齢期に受け取れると思う年金の額について聞いたところ、「10万円くらい」が19.8%で最も高く、次いで「15万円くらい」（19.1%）、「20万円くらい」（16.2%）、「5万円くらい」（10.6%）、「25万円くらい」（7.5%）などの順となっている。一方、「受け取れないと思う」は7.0%、「わからない」は9.9%である。平均すると17.9万円となっている。

世帯の高齢期に受け取れると思う年金の額(Q8)

